

助成事業実施報告書

団体名 ふじタウン自主防災会

代表者・役職名 氏名 会長 藤野 善武

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ふじタウン自主防災会の防災・減災活動推進

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

東日本大震災を受けて自主防災組織の必要性から、ふじタウン自治会として平成25年4月7日に「ふじタウン自主防災会」設置。自治会長が二年ごとに改選されるため、継続性が肝要な防災会の性質上、平成27年4月12日に自治会から独立した組織に変更。462世帯1142名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自主防災会活動の一環として炊き出し訓練を年に二回程度実施しているが、炊き出し用の大鍋はその都度、廿日市市社会福祉協議会から借りて実施しているのが実情です。実際の大災害発災時には、炊き出しが実施不可能であると実感しています。その解決には自前で炊き出し用大鍋を準備しなければならないとして、特に大鍋の購入に対する真如苑様にご支援をお願いすることにしました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

○炊き出し訓練

以下の炊き出し訓練に、防災会会員および住民の参加を呼び掛け、実効あるものとする。自前の大鍋が用意できれば、一人食事会(独居者対象)や通学合宿にも活用します。

12月 ふじタウン 餅つき大会・2月 阿品コミ防災避難訓練

○要支援者対応防災会議

自治会・民生委員とともに要支援者防災会議を実施。7月度以降区毎に五回実施。参加者合計107名。区毎に危険性の説明をし、発災時に要支援者はもとより、近隣お互いで助け合う大切さを徹底しました。

○高齢者対象防災会議

藤友会(老人会)と共催でふれあい祭りを開催。10月度以降区毎に五回実施。参加者合計144名。食料・飲料の備蓄方法や、災害時トイレの作り方等、高齢者対象の防災知識の普及を図った。

○防災訓練の実施。

住民が集まりやすい年末一斉清掃に合わせ、防災訓練を実施。実際に火を燃やし消火器で消火訓練。更に、折り畳み式の車椅子・リヤカーでの避難訓練も実施しました。約80名参加。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果

前回、真如苑様に御支援頂きました防災班別会議の成果により、住民意識が高まりました。

自治会・藤友会(老人会)が防災を絡めた区毎の会議を実施することになり、盛会でした。

自治会主催「要支援者防災会議」 五回開催 参加者合計107名

藤友会(老人会)主催「ふれあい祭り」 五回開催 参加者合計144名

- ① 地域住民のきずなが深まり、自治会総会や集会所建て替え総会など種々の会議への出席者が格段に増えました。以前は70名前後だった参加者が120名前後に増加しました。
- ② 防災士を自主防災会費用で四名増やすことが出来、合計七名となりました。自治会長も含めて、ふじタウン自主防災会のより良い運営を相談できるようになりました。防災の基礎は、人です。
- ③ 防災用資機材の充実 真如苑様ご支援で炊き出し用大鍋を揃えたと廿日市市に喧伝したところ、阿品コミから大鍋セットをもう一台提供して頂いた。さらに区毎に要支援者避難用として、折畳み車椅子五台を準備出来ました。

成果 ①上記の通り、種々の組織で防災に関する会合を開くようになり、その相乗効果としてお互いの絆がより深まりました。「今後も上記のような活動を継続して開催して欲しい」との強い要望が出ていることも良い傾向と喜んでいます。

②自前防災士の養成も、関心が高まり今期も五名チャレンジする予定で、合計12名になる計画です。

③防災資機材の充実は、住民皆様の安心感を高める事が出来ました。

効果 ①昨年七月に発生した西日本豪雨災害の後、避難準備情報が発令されたら、ふじタウン集会所を一時避難所として開設することを決定し、計三回開設しました。自主防災会会員のお陰でスムーズに運営出来ました。

②種々の防災会議で使う資料で、班別防災会議で使用した盛土における安芸灘地震被害状況とふじタウンにおける盛土・切土分布図を活用していることが、現在国主導で大規模盛土団地の調査が行われることを考えると、ふじタウン自主防災会は先進的な取り組みをして来たと自負しています。

③広島県防災士会や廿日市市防災士連絡協議会・廿日市市まちづくり協議会等で、ふじタウン自主防災会の上記活動を紹介することにより、各地域での防災活動の参考になっています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

来年三月には一時避難所を兼ねた新しい集会所が公園内に完成するので、これを活用した防災活動を推進していきます。今年は準備段階として、自治会・藤友会(老人会)・子供会と一緒に防災・減災活動をしていきます。

- ① 防災士の充実・防災資機材の充実が図られてきているので、これを活用して防災教育・防災活動の一層の推進を図っていきます。
- ② 住民懇談会の継続実施。→住民から、定期的に住民が集まれることを実施して欲しいとの要望があります。昨年度は、自主防災会に引き続き自治会・藤友会(老人会)でも区毎に懇談会を実施した。今年度は、住民参加で作成した新しい阿品地区ハザードマップを活用した防災・減災活動を推進します。
- ③ 第三回・基礎救命講習会を実施し、修了証という資格取得を図り、万一の救命に役立つようにします。
- ④ 子供会と協力し、発災時に役立つサバイバルパーベキュー大会を実施し、災害時生き延びるために役立つ技を身に着けるようにします。

7. 参考資料

①H30年度・ふじタウン自主防災会総会資料②H31年度ふじタウン自主防災会総会資料③要支援者会議・ふれあい祭りで使用した資料。④真如苑様助成金活用防災機材写真。⑤ふじタウン自主防災会活動事例の写真集⑥その他チラシ等資料

参考資料あり
特になし

台風24号・一時避難所開設 H30.9.30 毛布・非常食 ふじタウン集会所



2018/09/30

防災・消防訓練 消火訓練 H30.12.2 一斉清掃後 ふじタウン第一公園



2018/12/02

防災・消防訓練 H30.12.2 一斉清掃後 ふじタウン第一公園



2018/12/02

防災・消防訓練 子供による消火訓練 H30.12.2 ふじタウン第一公園



2018/12/02



2019/02/17



ふじタウン第二回基礎救命講習会 H31.2.17 ふじタウン集会所

2019/02/17



2018/06/24



廿日市地区まちづくり協議会防災研修会 H30.6.24 廿日市中央市民センター

2018/06/24